



札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は7月31日、創立100周年を記念するロゴマークのデザインを決めた。記念事業実行委員会(坂敏弘委員長)がこの日、デザイン候補の中から選定。北海道建設業協会が2013年に創立100周年を前に刷新したシンボルマークが原案になっている。

北海道建設業協会の英訳「HCA」で形作る原案の中央に「100th」を配

100周年ロゴマーク決定

会員企業へシールやデータ提供

し、「Sakkenkyo (札幌協)」の文字をデザインした。

会員企業へは8月初旬にも、名刺に貼れるロゴマークシールと電子データを提供。同建協は封筒などに印刷する。16年5月の記念式典まで限定で使う。

札幌建協

また実行委員会は、式典出席者を300人程度と見込み準備を進めている。3つの心と8つの行動規範を打ち出す「行動宣言2016」、会員や高校生が現場を撮った写真展、社会貢献活動の企画を進め、記念誌編集にも取り組んでいる。

創立100周年のロゴマーク決定

自然豊かな山々イメージ

札幌建設協



一般社団法人札幌建設業協会(岩田圭剛会長)の創立百周年記念事業実行委員会(坂敏弘委員長)は七月三十一日、道建設会館で本年度第三回目の委員会を開

催した。会合では来年の創立百周年記念事業として作成した、同建協の記念ロゴマーク「図参照」を委員全員の一致で了承した。協会では会員にそれぞれシール五百枚を配るなどして、百周年の機運の醸成を図っていききたいとしている。

のけん引役として、ともに歩んできた経緯から、道建協の了解を得て同じ「原形」とした。札幌建設協では、区別できるように、マークの下に「Sakkenkyo」と表示。その上に、設立年が分かるよう「Since 1916」と記した。中央のひし型には来年の百周年を記念して、「100th」と描かれている。

布するほか、名刺や封筒に印刷できるようロゴマークを電子データにしてメール配信する。道建協のロゴマークは、二十五年度に会員企業から募集して作成。英訳となる「Hokkaido Construction Association」の頭文字「HCA」を図案化した。中央のひし型と配色の緑は北海道と自然豊かな山々をイメージしている。デザインの採用者は(株)田中組の津賀尾大和さん。

記念ロゴマークは、二十五年